

平成31年度 釜戸小学校の教育方針と重点について

日頃は、釜戸小学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年度の評価を踏まえ、平成31年度の教育方針と重点について以下のようにまとめました。学校の教育目標「☆人間性豊かな子：進んで勉強する子・仲良く助け合う子・じょうぶで明るい子」を具現し、「思いやりと活力あふれる釜戸小学校」となるよう、家庭や地域と連携・協力して教育をすすめて参ります。保護者の皆様や地域の皆様に一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

1 子供一人一人の学力の向上をめざします

(1) 基礎・基本の力の定着と、どの子も「分かった」「できた」と実感し、表現力が高まる授業をめざします

- ①漢字検定や算数検定を行うとともに、一人一人の学習状況を把握し、放課後や夏休みの個別指導と学び直しの機会である「釜っ子タイム」や算数web学習を活用して、基礎・基本の力の定着に力を入れます。
- ②どの子も「分かった」「できた」と実感できる授業をめざします。また、自分の考えをしっかりとって話し合ったり、教え合ったり、発表したりする活動を通して、「表現力」が高まるように工夫します。

(漢字検定・算数検定・個別指導・「釜っ子タイム」・算数web学習・研究授業)

(2) 学校での読書指導や図書館を活用した学習を充実させます

- ①読書習慣の定着と図書館を活用した調べ学習や探究的な学習の充実を図ります。

(読み聞かせ、図書館祭り、ブックトーク、学級の読書コーナーの工夫、学習の足跡の掲示)

2 あたたかい人間関係を築く指導や援助を充実し、社会性が高まる教育に力を入れます

(1) 個々の思いを把握し、あたたかい人間関係をつくるよう努めます

- ①子供たちをよく見守るとともに、人間関係のトラブルやその子の悩みを把握し、担任との個別懇談をはじめ、必要に応じてスクールカウンセラーやスクール相談員との相談、外部関係機関との連携などをすすめ、早期対応、早期解決に努めます。
- ②よりよい生き方について考えを深める「特別の教科 道徳」の授業を核とし、正しいことが当たり前前にできる学級、いじめのない学級・学校づくりに積極的に取り組みます。また、ケース会議(個別の事案について検討する会議)を定期的に行い、児童の実態と支援の方向を検証します。それらの方策により、いじめにかかわる未解決事案0をめざします。

③登下校の様子に関する情報を班長や連絡ノートに活用することで、実態把握をし、安全な登下校ができるよう指導します。また、校内だけでなく地域でも元気なあいさつができるよう指導します。

(毎月の心の悩みアンケート・個別の懇談・スクールカウンセラーの活用・「特別の教科 道徳」の授業・学級指導・ケース会議・毎朝の登校指導・委員会活動によるあいさつ活動)

(2) 学校からの情報発信と保護者からの情報収集に努めます

①温かい人間関係づくりや安全指導に関わる指導内容を積極的に保護者の皆様にお知らせします。また、保護者や地域の皆様から学校に情報を提供していただけるよう働きかけます。(家庭や地域で心配なこと、気づいたこと、子供の良い姿などの情報を教頭までお寄せください。) 子供からも感謝のメッセージをお伝えできるように努めます。

(学校便り・学級通信・年間2回のハッピーメッセージ募集〈保護者、ご家族、町内の皆様、様々な関係機関から〉)

3 家庭や地域と連携し、家庭・地域とともにすすめる教育を実践します

(1) 家庭学習の習慣化とゲーム等の約束づくりを働きかけます

①「家庭学習のすすめ」の積極的・継続的な活用と家庭教育週間の実施により、家庭学習の習慣化や読書の充実につながるよう働きかけます。また、ゲームやPC、携帯電話等の情報モラルにかかわるルールづくりがしていただけるよう、PTAと連携して働きかけます。

(「家庭学習のすすめ」・年間3回の家庭教育週間・情報モラル指導)

(2) ふるさと教育を充実し地域とともにすすめる教育の実践に努めます

①地域の自然や歴史、産業、人々の暮らしなどの学習において、積極的に地域に出かけたり、地域の方を先生として招く授業をしたりします。それを通して、地域のよさを知り地域を愛する心を育みます。また、地域学習の成果の発信に努めます。

②公民館や青少年育成町民会議、子供会などと連携し、地域行事に主体的に子供たちが参加できるように協力します。また、あいさつ運動をはじめ、様々な活動を通して地域に貢献し、活躍できる子供を育てます。

(地域学習・地域人材の活用・地域学習の成果発信・あいさつ運動・地域行事への参加や貢献)